

令和4年度 第1回茨木市障害者施策推進分科会 会議終了後にかかる意見及び回答一覧表

NO	委員名	議題・資料	該当頁	ご意見	回答内容
1	山口委員		10頁「5 相談支援」 13頁「3 相談支援事業」	<p>市委託の障害者相談支援事業を令和5年度には10か所から14か所と計画されています。</p> <p>10頁の計画相談支援等の項目においても相談支援従事者という人的資源の確保が課題となっておりますが、今後の人的資源の確保や配分についてどの様に検討されていくのでしょうか。</p> <p>令和4年度内に何らかの動きが見込まれるのでしょうか。</p>	<p>市委託の障害者相談支援事業は、現在の総合保健福祉計画（第2期）において市内14エリアに14か所配置を行う計画となっております。そのため、総合保健福祉計画（第2期）の最終年度である令和5年度の見込量は14か所と設定しておりますが、市内の計画相談支援を担う事業所数の状況から令和5年度の計画達成は難しいものと考えております。</p> <p>現在、相談支援専門員の不足、計画相談支援利用者が伸び悩んでいる状況が問題となっております。次期総合保健福祉計画、障害福祉計画を策定するにあたり、本市の実情を踏まえ、市委託の障害者相談支援事業を含めた相談支援体制について検討を行う必要があると考えております。</p> <p>現在のところ、具体的な検討の開始時期や検討方法は決まっておりますが、本分科会や障害者地域自立支援協議会の意見も参考に進めていきたいと考えております。</p>
2	竹岡委員	【議題2】（資料2）障害福祉計画（第6期）の取組状況等について	10頁「5 相談支援」	<p>先日の会議で私が質問させていただいた際に、井上課長がお答えしてくださったなかに問合せが何段階もないようにしていく、というようなことをお話くださったと思いますが本当にそこは改善してくださいよう進めていただけたらありがたいと思います。障害福祉課とかだけでなく、市役所からの通知やお知らせ（介護保険などがこの場合はどうしたらいいの？とか再度聞かないとわかりにくいのが多いなど感じていますのでここに聞けばわかる、とかこれを見ればわかる、というような案内の仕方を今後も紙面やネット、窓口でも心掛けていただけたら、手間や時間、労力などで助かる方は多いと思います。</p> <p>例えば、質問があったように、「このアンケートはWEBでもありますか。」とか想定されるようなことを先にアンケート用紙に「このアンケートはWEBでも可能です。」など、WEBアンケートは一例ですが、なにか案内などをする際に、こういう質問がくるのではないかと当事者や家族、事業者の立場を考慮して工夫していただけると助かります。会議の質問とかも少なくなるかもしれません。</p>	<p>ご意見として頂戴し、今後の事務執行等における参考とさせていただきます。</p>
3	竹岡委員	【議題3】次期計画策定に向けたアンケート調査について（資料3-1）障害者手帳所持者対象アンケート	9頁 問23	<p>アンケートの問23で「市が提供する情報をどういう手段で」とありましたが、障害者が自分から得ようとするのも大事ですが、どこまで意欲的になれなかったり、一人でどこにも相談できてない人とかもいるかと思うので例えば障害者手帳を持っている人には年に1回か2回でも、こういう情報がありますよ、といったハガキか手紙を郵送するのはいかがでしょうか。</p> <p>ハガキくらいなら見て、そこからネットができる人はアクセスしたり、電話したりして孤独になっていく率が少し減るのではないかとおっしゃいました。</p>	